

第3章 戦略が目指すもの

1 戦略の目標

- 「いしかわ健康フロンティア戦略」では、活力ある高齢社会の実現に向けて、誰もが寝たきりや認知症などにならず、生涯にわたり元気で自立した生活を営むことができるよう「健康寿命」の延伸と健康指標に関する地域差の改善を目指します。このため、地域ごとのきめ細やかな対策を進めます。
- 健康寿命の目標値については、平均寿命と健康寿命の差に着目し、平均寿命の延び以上に健康寿命を延ばすことを目標とします。

●健康寿命の現状値（国公表値）

区分		石川県			全国		
		平均寿命	健康寿命	差	平均寿命	健康寿命	差
H28	男性	81.08	72.67	8.41	80.98	72.14	8.84
	女性	87.33	75.18	12.15	87.14	74.79	12.35
R1	男性	81.79	73.08	8.71	81.41	72.68	8.73
	女性	87.79	75.90	11.89	87.45	75.38	12.07

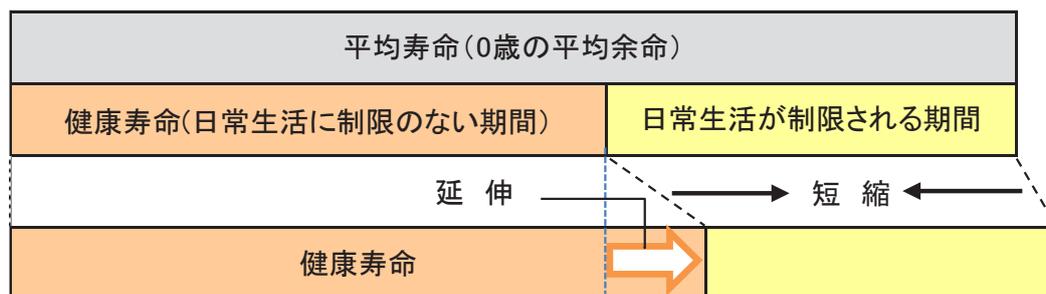
出典：健康寿命（H28/R1）

令和3年度 厚生労働行政推進調査事業費補助金（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業）
「健康日本21（第二次）の総合的評価と次期健康づくり運動に向けた研究」分担研究報告書
「健康寿命の算定・評価と延伸可能性の予測に関する研究」

平均寿命（H28/R1 元）

上記厚生労働科学研究による「日常生活に制限のない期間の平均」と「日常生活に制限がある期間の平均」を足し合わせたもの

《平均寿命と健康寿命の関係》



- 健康指標に関する地域差の改善については、圏域や市町単位での健康寿命が公表されていないため、日常生活が自立している期間※に着目し、日常生活が自立している期間の最上位の圏域の増加分を上回る最下位の圏域の増加を目標とします。

※算出方法：厚生労働科学研究班が提示している「健康寿命の算定プログラム」の「対象集団の生命表を用いた健康寿命の算定法」による

- 健康に関する指標の地域差の改善を図るため、地域別の健康指標の把握に努め、地域の実情を踏まえた対策を推進するとともに、市町、医療保険者、医師会等と連携し、健診（検診）による早期発見、早期治療や生活習慣病の発症予防、重症化予防対策の充実、強化等を図ります。

●日常生活が自立している期間の現状値（5年平均）

性別	保健所圏域	現状値(R1)
男性	南加賀	79.75歳
	石川中央	80.22歳
	金沢市	79.75歳
	能登中部	79.27歳
	能登北部	78.10歳
女性	南加賀	83.17歳
	石川中央	83.74歳
	金沢市	83.25歳
	能登中部	82.62歳
	能登北部	82.68歳

<算出に使用したデータ> ◆人口：2017（H29）年～2021（R3）年の5年間を合計した数を使用
 2020（R2）年：総務省の国勢調査に関する不詳補完結果（参考表）
 2020（R2）年以外：県統計情報室の推計人口
 ◆死亡数：2017（H29）年～2021（R3）年の5年間を合計した数を使用
 厚生労働省「人口動態統計」
 ◆不健康割合：2019（R1）年の介護保険事業状況報告データを使用
 不健康割合の分母：2019年人口（上記人口を利用）
 不健康割合の分子：要介護2～5の認定者数

2 戦略の位置付け

本戦略は、健康増進法第8条に基づき、都道府県が策定する健康増進計画とします。

策定にあたっては、「石川県医療計画」、「石川県がん対策推進計画」、「石川県循環器病対策推進計画」、「いしかわ歯と口腔の健康づくり推進計画」、「石川県自殺対策計画」、「石川県アルコール健康障害対策推進計画」、「いしかわ食育推進計画」、「石川県長寿社会プラン」等との整合性を図るものとします。

3 戦略期間

戦略期間は、令和6年度（2024年度）から令和17年度（2035年度）までの12年間とし、中間年の令和11年度（2029年度）を目途に中間評価を行います。

